

みんなで歩こう ツーデーウォーク

10月27日・28日、東海道とまん中ふくろいツーデーウォークが開催され、2日間で延べ1,148人が市内に設けられた6つのコースを歩きました。初日はあいにくの雨でしたが参加し

た皆さんは傘を片手に、晴天に恵まれた2日目は帽子をかぶって歩き、袋井の自然や文化を感じながらそれぞれのペースで足を進め、ゴールまで完歩しました。



わくわくドキドキ土器づくり

10月17日、浅羽南小学校の6年生64人が土器づくりに挑戦しました。縄文時代から現代までの地域の歴史を調べる総合的な学習「ふるさとタイムトラベル」の一環として行われたものです。

市生涯学習課文化財係の職員の指導のもと、児童たちは輪にした粘土を積み重ねて土器を形作ると、縄や貝、葉っぱなどを使い、思い思いの模様をつけて自分だけの縄文土器を完成させました。



咲き誇るコスモスとヒマワリ

10月、休耕田を利用して植えられた松原地内のコスモスと友永地内のヒマワリがそれぞれ見ごろを迎えました。松原地内のコスモス畑では、10月の1か月間「コスモスマツリ」が行われ、連日多くの家族連れなどでにぎわいま



した。友永地内のヒマワリ畑では、27日・28日に「源氏の里ひまわり祭り」を開催。穏やかな秋の日差しのもと、たくさんの方々が秋のヒマワリを楽しみました。



秋空を舞う^た凧の競演

10月21日、小笠山総合運動公園で「東海道どまん中袋井全国凧揚げ大会」が行われ、全国から集まった凧愛好団体の皆さんが晴天の秋空に凧を舞わせました。大会は、浮世絵にも描かれていた袋井丸凧の再現20周年を記念して袋井丸凧保存会が企画したもので、会場では参加団体による凧揚げの競演や子どもたちへのミニ凧プレゼントのほか、凧に付けた書きじを空から降らす「ふうたん書きじ」なども行われ見学者を楽しませました。



ファミリーバドミントンで楽しく交流

10月21日、市民体育館でファミリーバドミントン大会兼交流会が開催され、市内外から家族連れや仲間など15団体74人が参加し熱戦を繰り広げました。子どもから年配の方まで誰もが気軽



に楽しめるファミリーバドミントンは、交流やふれあい、健康・体力づくりなど様々な目的で行われています。会場では大会の部と交流の部で試合が行われ、参加した皆さんは、さわやかな汗を流していました。

